【2．代理者】
【イ．氏名】
【ロ．勤務先】
【ハ．郵便番号】
【ニ．所在地】
【ホ．電話番号】

【3．設計者】
【イ．氏名】
【ロ．勤務先】
【ハ．郵便番号】
【ニ．所在地】
【ホ．電話番号】

【4．建築物及びその敷地の概要】
【イ．所在地】
【ロ．名称】
【ハ．用途】
【ニ．構造】□鉄筋コンクリート造　□鉄骨鉄筋コンクリート造　□鉄骨造　□木造
□その他（　　）
【ホ．階数】地上　　階　地下　　階
（　届出部分　）（届出以外の部分）（　合計　）
【ヘ．床面積の合計】（　　㎡）（　　㎡）（　　㎡）

【5．工事着手予定年月日】平成　　年　　月　　日

【6．工事完了予定年月日】平成　　年　　月　　日

【7．備考】

（第三面）

省エネルギー措置の概要

【1．工事種別】□新築　□増築　□改築
□直接外気に接する屋根、壁又は床の修繕又は模様替
□空気調和設備等の設置　□空気調和設備等の改修

【2．届出をする部分】□直接外気に接する屋根、壁又は床　□空気調和設備
□空気調和設備以外の機械換気設備　□照明設備
□給湯設備

【3．該当する地域区分】（　　地域）

【4．住戸に係る事項】
⑴　住戸の番号　（　　）
⑵　住戸の存する階　（　　階）
⑶　専用部分の床面積（　　㎡）
⑷　外壁、窓等を通しての熱の損失の防止のための措置
1）屋根又は天井
【断熱材の施工法】□内断熱工法　□外断熱工法
□充填断熱工法　□外張断熱工法　□内張断熱工法
【断熱性能】□断熱材の種別及び厚さ（種別　　）（厚さ　　㎜）
□熱貫流率（　　W／（㎡・K））　□熱抵抗値（　　（㎡・K）／W）

2）壁
【断熱材の施工法】□内断熱工法　□外断熱工法
□充填断熱工法　□外張断熱工法　□内張断熱工法
【断熱性能】□断熱材の種別及び厚さ（種別　　）（厚さ　　㎜）
□熱貫流率（　　W／（㎡・K））　□熱抵抗値（　　（㎡・K）／W）

3）床
㈠　外気に接する部分
【該当箇所の有無】□有　□無
【断熱材の施工法】□内断熱工法　□外断熱工法
□充填断熱工法　□外張断熱工法　□内張断熱工法
【断熱性能】□断熱材の種別及び厚さ（種別　　）（厚さ　　㎜）
□熱貫流率（　　W／（㎡・K））　□熱抵抗値（　　（㎡・K）／W）
㈡　その他の部分
【該当箇所の有無】□有　□無
【断熱材の施工法】□内断熱工法　□外断熱工法
□充填断熱工法　□外張断熱工法　□内張断熱工法
【断熱性能】□断熱材の種別及び厚さ（種別　　）（厚さ　　㎜）
□熱貫流率（　　W／（㎡・K））　□熱抵抗値（　　（㎡・K）／W）

4）土間床等の外周
㈠　外気に接する部分
【該当箇所の有無】□有　□無
【断熱性能】□断熱材の種別及び厚さ（種別　　）（厚さ　　㎜）
□熱貫流率（　　W／（㎡・K））　□熱抵抗値（　　（㎡・K）／W）
㈡　その他の部分
【該当箇所の有無】□有　□無
【断熱性能】□断熱材の種別及び厚さ（種別　　）（厚さ　　㎜）
□熱貫流率（　　W／（㎡・K））　□熱抵抗値（　　（㎡・K）／W）

5）開口部
【開口部比率】（　　）
【断熱性能】□建具等の種類（建具の材質・構造　　）
（ガラスの種別　　）
□熱貫流率　（　　W／（㎡・K））
【日射遮蔽性能】
□ガラスの日射熱取得率（日射熱取得率　　）
□開口部付属部材　（南±25度に設置するもの　　）
（上記以外の方位に設置するもの　　）
□ひさし、軒等

⑸　空気調和設備等に係るエネルギーの効率的利用のための措置
1）住戸の形状に係る措置
外皮等面積の合計を床面積の合計で除した数値（　　）
基準値（　　）
2）住戸の設備に係る措置
【暖房】暖房設備（　　）
効率（　　）
【冷房】冷房設備（　　）
効率（　　）